

第5回橋本市の自治と協働をはぐくむ委員会 会議録

会 議 名	第5回橋本市の自治と協働をはぐくむ委員会会議
日 時	令和6年5月20日（月）13時30分～16時00分
場 所	橋本市民会館2階 第3AB会議室
出席者 （敬称略）	堀内 秀雄 乾 幸八 前田 陽一郎 平家 利也 田村 亜美 森田 知世子 井西 三知子 今田 実 岸田 昌章 芝 一與 戸島 浩子 中谷 維志 東 美樹 平田 敬二 福澤 稔 向 律子 【出席委員：16名】
欠 席 者 （敬称略）	玉井 勝代 佐藤 陽子 小原 秀紀 岩澤 晃臣 【欠席委員：4名】
事 務 局	総合政策部長 井上 稔章 地域振興室長 前川 朋久 地域振興室主査 上原 慎太郎 地域振興室主査 今山 知紀
次 第	1. 開会 2. 報告 ① 広報はしもと 資料1 広報はしもと6月号 ② 子ども向けパンフレット ③ 地域運営組織 ④ はしもとプラチカ 資料2 みんなでチャレンジチラシ 追加資料 みんなでチャレンジ申し込み状況 3. 議事 ① スケジュール 資料3 スケジュール（案） ② 職員研修 資料4 研修後アンケート結果 資料5 令和5年度職員アンケート（抜粋） 4. その他 ① 次回会議日程 5. 閉会

1. 開会

- 委員20名中16名出席により、委員会が成立していることを報告。
- 傍聴者1名。
- 議事録署名人は平家利也委員、戸島浩子委員。

2. 報告

① 広報はしもと

広報はしもと6月号にはぐくむ委員会の令和5年度の活動報告とはしもとプラチカ代表の東さんへのインタビュー内容が掲載された。内容については前田委員と向委員による音読で共有。

○ 委員意見等

- 市の担当者ではなく市民委員が広報と協力して情報発信をしている自治体は少ない。広報課の協力が続いていることもよいこと。

○ その他

- 傍聴人に対してこられたきっかけを確認。市ホームページに小さく記載されているのを見たとのこと。今後はホームページで事前周知後、会議直前にも目につくところに掲載できるよう改善を検討。

② 子ども向けパンフレット

子ども向けパンフレット作成チームにから小学校5,6年生を対象としたはぐくむ条例周知パンフ作成の進捗状況について報告が行われた。

○ 報告内容

- 対象は小学校5,6年生とし、媒体はデジタルと紙の併用。デジタルはまなびの日のパネルをベースに岩澤委員に編集を依頼。紙はクイズやすごろくなど遊びながら学べるものとする。
- 内容を身近に感じてもらえるようこどものキャラクターによる会話形式の内容を取り入れる。イラストは委員の娘さんに作成していただいた。
- 人口減少を身近に感じてもらえるよう少子化率や人口推移のグラフも掲載する。
- 今後の流れとしてパンフ案作成→学校教育課へ確認依頼→案完成(7月頃)→教員による内容確認(夏休み)→完成(11月頃)。12月からの提言書作成開始までに完成できるよう調整する。

○ 委員意見等

- 8月の委員会において委員の承諾がもらえるよう次回以降のパンフ作成チームの会議内容及び作成スケジュールを委員のグループ LINE で報告してもらいたい。
- 後半で大幅な修正ができることの無いよう、事務局は学校教育課及び生涯学習課地域教育係と情報共有を密に行ってほしい。
- 地域課題を解決するためには費用も必要となることを意識づけるため、税金の仕組みと運用についても記載してはどうか。
- 活動内容を周知するために商工会議所のメンバーや橋本ロータリークラブ等の団体への進捗説明の機会を設けてみてはどうか。

③ 地域運営組織

橋本市の自治と協働をはぐくむ条例（以下、「条例」という。）第10条及び附則に記載されている地域運営組織に関し、第4回会議で令和6年4月以降も継続して審議するための仕組みを事務局で検討するとした結果について、事務局から報告を行った。

○ 報告内容

- 前回会議において地域運営組織検討懇話会（以下、「懇話会」という。）は令和6年3月までで終了と説明したが、委員より継続が必要ではないかとの意見があり、検討した結果、懇話会による継続審議を可能とするための改正を今後行うこととした。

○ 委員意見等

- 懇話会は条例においても地域運営組織についての記載があるうえで、はぐくむ委員会とは別で要綱に基づき組織されたものであるため、地域運営組織についてこれから進めていくなれば必要と考える。
- 地域運営組織についてはどの程度進んでいるのか。
 - 令和5年度に地域運営組織の設立要件等をまとめた橋本市地域運営組織規則（以下、「規則」という。）を作成した。令和6年度はモデル地区を2地区選定予定。
- はぐくむ委員会や各グループも関わるので、構成要件の資料や今後のスケジュールについては、はぐくむ委員会にも共有してほしい。規則は令和6年4月1日から自動で施行されるのか。何か会議での承認がいるのか。
 - 規則については4月1日から施行されているので提供できるが、スケジュールについては確定していないので、確定後に共有する。
- 地域運営組織の進め方として、モデル地区を選定する前に各地区の地域課題を把握してからどこをモデルにするのかを決めるべきでは。
 - 地域課題について把握できたものがあれば意見として事務局に聞かせてほしい。

- まずは懇話会のメンバーに対して市の方針とスケジュールを提案すべきと考える。

④ はしもとプラチカ

みんなでチャレンジの申し込み状況について、東会長より報告。

○ 報告内容

- 5月20日現在で45名の申し込みがあり、女性が29名、男性が16名。市内の方が40名で県内の方が3名。県外の方も2名いる。20代が8名もいることは嬉しい。連続5回の申し込みも9名いる。
- 情報発信ははぐくむ委員会のグループLINEやはぐくむサポーター通信、インスタグラム、広報、チラシ（公民館、図書館、橋本高校、コンビニ、スーパー等）など。橋本市青年指導員連絡会の総会でもチラシを用いて説明し、3名の参加を頂いた。また、6月1日に実施のフードトラックフェスティバルでもはしもとマルシェのスペースの一角で出展しPRする。

○ 委員意見等

- この企画内容は行政だけではできなかったと思う。市外からの参加があるのはすごいし、世代が分かれているのもすごい。課題も出てくると思うが協働のきっかけづくりなので、今回の企画は丁寧に参加者を大事にしていきたいと思います。

3. 議事

① スケジュール

第3期ははぐくむ委員会における令和6年度の作業スケジュールについて確認。

○ 報告内容

- 委員会の開催は今回の第5回委員会後、8月・11月・2月の3回を予定。
- 正副グループ長会議は委員会の合間に開催されるもの。
- はぐくむ委員の任期が1期＝2年となっており、第3期は令和7年3月で終了となる。任期の最後には調査・研究の成果として提言書を作成し、市長へ提出している。第1期は提出のみ。第2期は市民や職員も参加できる報告交流会を3月に実施し、その際に市長へ提出している。今年度はどうするかを決めていきたい。提言書提出が2月となっているのは3月議会を考慮してだが、3月にすることも可。
- 検証シートは第2期提言書において「条例の内容が橋本市にふさわしく、社会情勢に適合しているかどうか、毎年度効果を検証」するために、数値で算出できる具体的なものとして作成された。今年も作成予定のため各グループでも各項

- 目調査を次回8月委員会ごろまでに始めていただき、11月の委員会で共有できればと考えている。
- 広報の作成については輪番制で、次は協働のまちづくりグループが作成することになっている。来年3月中頃までに原稿を作成し、来年5月の広報に掲載予定。内容は提言書の内容+αになると思われる。
 - 委員意見等
 - こどもパンフ作成チームのみでなく、他のグループも次回8月委員会で活動概要骨子を提出し、11月委員会には提言書のたたき台を作成しては。そうすれば2月の提言書提出までの委員会で意見を出し合える。
 - こども祭りに参加する中・高校生を対象としたはぐくむ委員会の活動を周知するパンフを作成しては。
 - すでに作成されている条例の冊子とは別にこどもを対象としたより分かりやすいチラシ(A3両面で令和5年度の活動内容をお知らせするニュースのようなもの)を検討。内容については8月の第6回委員会までに正副グループ長会議を開催し、8月委員会で案を提出できるよう準備する。
 - まなびの日は11月9日(準備)～11月10日(本番)の実施で進行中。県立体育館の日程は押さえ済み。

② 職員研修

令和6年度の職員研修に向けた前年度アンケート結果の共有と開催時期について事務局より報告。

○ 報告内容

- 資料4が昨年11月20日に開催した職員研修参加者のアンケート結果。資料5が全職員を対象に行った協働についてのアンケート結果です。内容として具体的な取り組みを入れてほしいとの意見が多いが意味として①具体的な取り組み事例を紹介してほしい②実際行っている協働に参加したいの2つの意味がある。
- 令和6年度の職員研修は9月に実施予定として職員課へ伝えている。
- 昨年度、職員研修については単独グループではなく、はぐくむ委員会で部会を設けて横断的に意見を頂きたいとの提案があり、今年度も同様に進めたい。

○ 委員意見等

- 11月から9月に早まった理由は。
 - 12月以降税務課が繁忙期に入ること、年末に補助金処理などがあることから秋ごろの開催を希望する声が多かったため。
 - 変更もいいが、今後は決まったタイミングとする方が準備等もしやすいのでは。

- 職員研修については正副グループ長会議で意見等を求めていく形で進めてはどうか。その際各長はそれぞれのグループの意見を反映できるよう意見収集を行ってほしい。内容として協働の実例発表については当委員会からだけでなく職員からも発表させてはと考える。職員から2名、委員会から2名を発表させる場としてはどうか。
- 職員課の研修担当者にも研修検討会議の場に参加してもらいたい。
- 研修を受けて職場が変わったといわせるような内容にしよう。

4. その他

① 次回日程調整

- 第6回はぐくむ委員会は8月20日(火)13時30分～ 教育文化会館3-3
- 正副グループ長会議は6月10日(月)13時30分～ 北別館入札室

② 正副グループ長会議について

- 正副グループ長会議は原則、各グループの正副グループ長が出席するが、代理出席も認める。
- 内容としては各グループの進捗状況把握と補佐、必要となる作業の割り振りの決定などを行う。

5. 閉会

以上